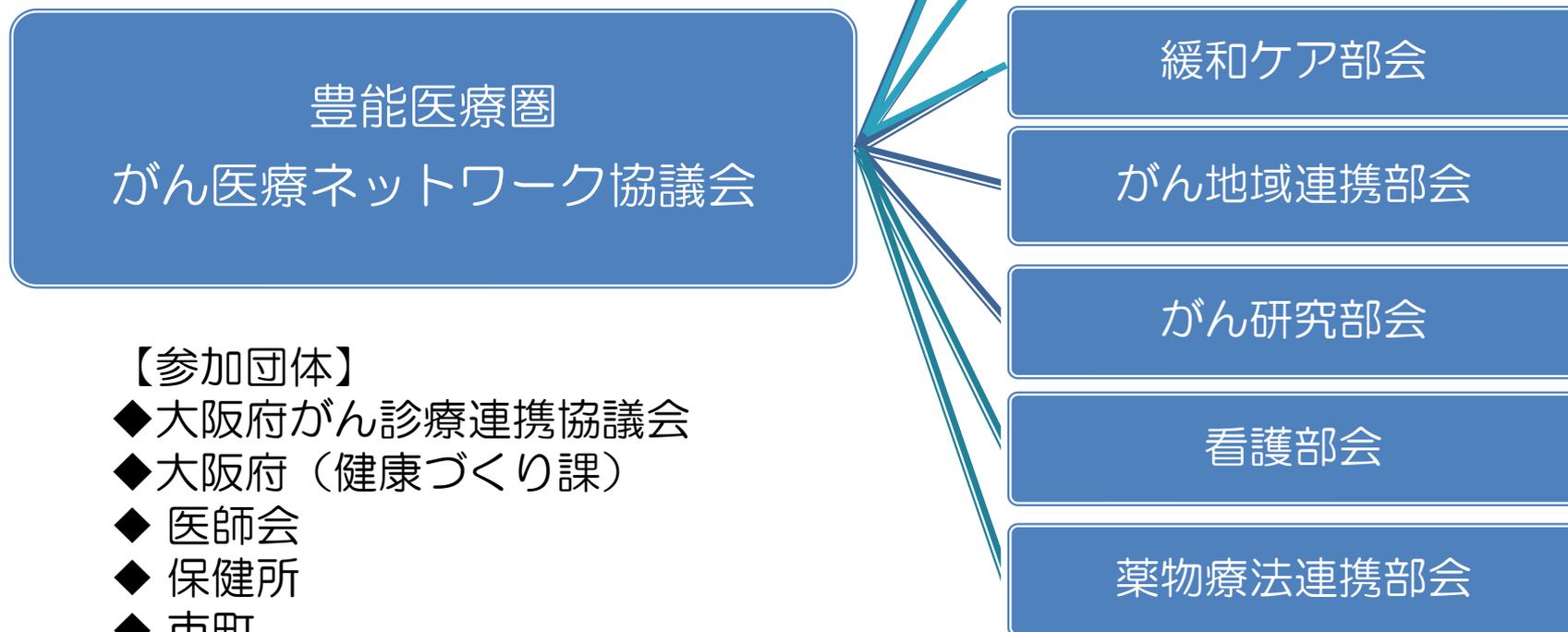


豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

〔令和5年（2023年）8月2日〕

市立豊中病院
大阪大学医学部附属病院

組織図



【参加団体】

- ◆大阪府がん診療連携協議会
- ◆大阪府（健康づくり課）
- ◆医師会
- ◆保健所
- ◆市町
- ◆ホスピス・在宅診療所
- ◆大阪府訪問看護ステーション協会
- ◆がん診療（連携）拠点病院

がん登録・情報提供部会

令和5年度（2023年度）活動目標

（がん登録チーム）

1. 院内がん登録データを用いた現状分析

大腸癌をテーマに2020年～2022年の3年分の院内がん登録データから、地域、進行度や治療内容等のベンチマークを作成し、豊能医療圏と三島医療圏における現状について比較、分析を行う。

がん登録・情報提供部会

(情報提供チーム)

1. がん教育の推進

- 児童・生徒向けがん教育出前講座への講師派遣の継続に取り組む
- 大阪府や各市町の教育委員会との連携を図りながら、がん教育の実施を進めていく。

2. がん医療公開講座の実施の方向性等の検討

- がん医療公開講座の開催方法について検討する。

がん相談支援部会

令和5年度（2023年度）活動目標

- 診断時からがん相談支援センターを案内できる体制の整備

各医療機関の現状や行っている取り組み、使用しているリーフレット等を共有したうえで、二次医療圏内での具体的な取組みを検討。

緩和ケア部会

令和5年度（2023年度）活動目標

1. 地域連携リレーシート運用ワーキンググループによる活動
2. 地域連携カンファレンス（マッチング）
3. 各施設の研修会、勉強会のお知らせなど情報共有
4. その他

緩和ケア部会

令和5年度（2023年度）具体的な取り組み

1.地域連携リレーシート運用ワーキンググループによる活動（11施設参加）

【目的】：①リレーシートの普及 ②リレーシートの改定

- ▶未導入施設（市立池田病院）での導入サポート
 - ・医師をはじめ他職種への周知方法 など
- ▶既導入施設では積極的運用を図る
 - ・作成件数の増、未記入項目の削減の対策
- ▶リレーシート受け手施設からのシート活用評価
 - ・紹介状に添付されるリレーシートの割合
 - ・リレーシートの記載内容の状況（空欄の割合など）

緩和ケア部会

令和5年度（2023年度）具体的な取り組み

2.地域連携カンファレンス（マッチング）

緩和ケア部会参加施設同士でカンファレンスを行い、部会共通テーマについても協議する。

今年度共通テーマ「療養の場の意向（移行）を妨げるもの」

手 順

- ①参加希望有無のアンケートを実施（メール）集計し、部会で 相手施設をマッチングする。
- ②マッチング施設決定後は日時場所など各々で調整する。
- ③カンファレンス内容は各施設でまとめて部会へ提出
- ④まとめたものを第2回協議会で発表

緩和ケア部会

令和5年度（2023年度）具体的な取り組み

3.各施設の研修会、勉強会のお知らせなど情報共有

- 各種研修会や勉強会の情報は、メーリングリストを活用し共有する。

緩和ケア部会

令和5年度（2023年度）具体的な取り組み

4.その他

- ①本会での報告にあった患者調査結果において、「気持ちのつらさ」への対処が不十分であるとあった。
当部会ではどう対策するか。→ 今後検討

- ②緩和ケアの提供体制について（主に疼痛緩和）各施設の疼痛緩和治療体制について共有することでよりよい緩和ケアを地域全体で行えるようにする。
→ 各施設へアンケート実施

がん地域連携部会

令和5年度（2023年度）部会活動の目標

「豊能医療圏におけるがんゲノム医療とAYA世代支援の均てん化に向け、現状および課題を把握する」

がん地域連携部会

令和5年度（2023年度）具体的な取り組み

①各施設におけるがんゲノム医療の実績、院内フロー、地域連携体制の現状調査ならびにAYA支援状況の調査
下記項目について、各施設での現状を確認するアンケートを実施し、結果を集計分析する。

- ・ ゲノム医療の院内周知体制
- ・ パネル検査対象患者対応時のフロー整備状況
- ・ パネル検査出検数
- ・ 地域連携体制
- ・ AYA支援体制の状況

がん地域連携部会

令和5年度（2023年度）具体的な取り組み

②がん診療を担う医師向けの意識調査

各施設のがん治療医等を対象に下記項目を含めたアンケートを実施し、結果を集計分析する。

- ゲノム医療についての認知状況
- ゲノム医療実施に当たっての困りごと
- その他意見
- AYA支援について認知状況

がん研究部会

(1)小児がん対策

●小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

大阪大学医学部附属病院は、2019年に厚労省認定小児がん連携病院、大阪認定府小児がん拠点病院となり、小児がん拠点病院を含む大阪府内の小児がん診療施設と連携し、小児がん患者の質の高い診断・診療に取り組んでいる。

特に骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫および肝移植の必要な肝芽腫などについては大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科などと連携して治療にあたっている。

血液・悪性腫瘍やその他の疾患に対する造血細胞移植も積極的に施行しており、血縁、非血縁（骨髄バンクなど）、臍帯血のすべてに対応している。

2020年からはキメラ抗原受容体（CAR）-T抗原療法認定施設として、難治性白血病の治療に取り組んでいる。

AYA世代のがんに対しても積極的に加療を行っている。

妊孕性温存については、生殖医療センターと連携し、事前にきめこまかな面談を施行のうえ、卵巣凍結をはじめ高度な医療提供を行っている。

小児科では、2005年から治療後の長期フォローアップ外来を設置している。一生を通じて質の高い生活を送ることができるよう多診療科による医師、看護師（研修会受講済）、臨床心理士、薬剤師、ソーシャルワーカーなどの多職種による支援を行っている。

がん研究部会

(2) 骨髄移植および臍帯血移植の推進

- **骨髄移植および臍帯血移植の現状**

同種造血幹細胞移植の件数は年間27件（2022年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁（骨髄、末梢血幹細胞）、骨髄バンク（骨髄、末梢血幹細胞）、臍帯血のすべてに対応しており、去年は末梢血幹細胞を用いた移植が2/3となっていた。また造血器腫瘍に対する免疫細胞治療としてCAR-T療法を2020年より開始し、2022年は26件施行している。

(3) がん研究の推進

- **多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））**

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

- **臨床研究中核病院**

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。未来医療開発部の支援の下、がん薬物療法の治験治療等、質の高い臨床研究を推進している。

がん研究部会

● がんゲノム医療中核拠点病院

- ・「がんゲノム医療を総括する部門の設置」として、がんゲノム医療センターを設置し、平成30年2月にがんゲノム医療中核拠点病院の指定を厚生労働省より受け、令和5年3月に引き続き指定を受けた。（指定期間：令和9年3月31日まで）

- ・令和5年5月時点で、がんゲノム医療拠点病院（全国に32病院、うち大阪府下2病院）、及びがんゲノム医療連携病院（近畿圏9病院、うち大阪府下5病院）と協力して、がんゲノム医療の社会実装を推進している。

（協力している大阪府下7病院：【拠点】大阪国際がんセンター、近畿大学病院
【連携】大阪公立大学医学部附属病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪労災病院、堺市立総合医療センター、市立豊中病院）

- ・平成30年10月より先進医療B「マルチプレックス遺伝子パネル検査」を実施した。（199例登録）

- ・令和元年9月中旬より2種類のがん遺伝子パネル検査の受付を開始し、血液検体を用いたがん遺伝子パネル検査（FoundationOne Liquid CDx）を令和3年9月から受付を開始した。（令和元年:96件、令和2年:224件、令和3年:255件、令和4年:259件）

- ・令和元年10月から、国立がん研究センター中央病院が調整事務局となり実施する「遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養（受け皿試験）」が特定臨床研究として開始された。当院も共同医療機関として実施している。

- ・令和4年9月より、AMED全ゲノム研究（患者還元班）に参加し、難治がん・希少がんに対する全ゲノム解析研究を実施している。（令和4年度100例実施）

がん研究部会

(4) 先進医療の推進

●以下の先進医療を現在実施中である（R5.1.1）

1. テモゾロミド用量強化療法 初発時の初期治療後に再発又は増悪した膠芽腫（先進医療B）

2. 術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん（先進医療B）

3. 術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブーパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除可能な膵臓がん（七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。）（先進医療B）

がん研究部会

(5) 人材育成

●がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
(大学院) 現在新規申請中

109名(2022年度)

(薬物療法、放射線治療、外科治療、緩和医療、医学物理、がん病理、細胞診、がん看護、小児がん、ゲノム医療、創薬など)